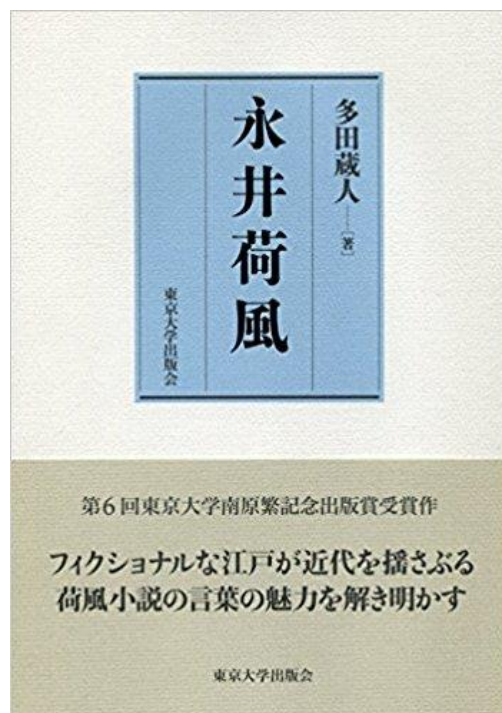


# 「言葉をえらぶ文学」 としての日本近代文学

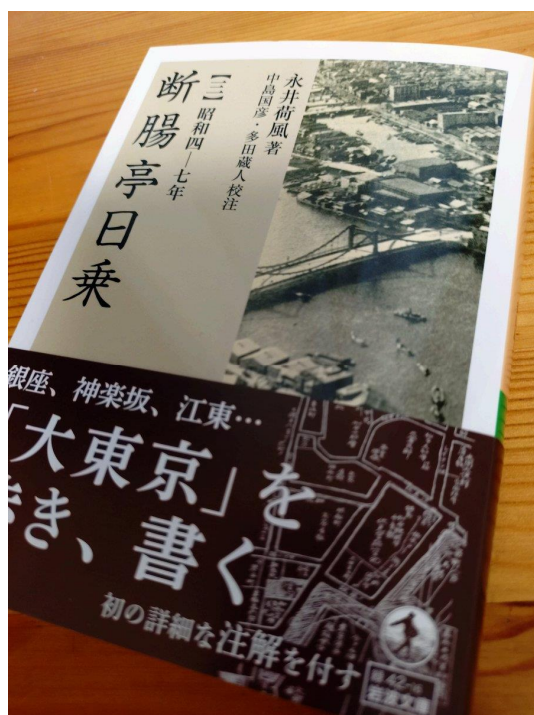
## 近代日本の「文体」再発見

2025/09/05 多田蔵人

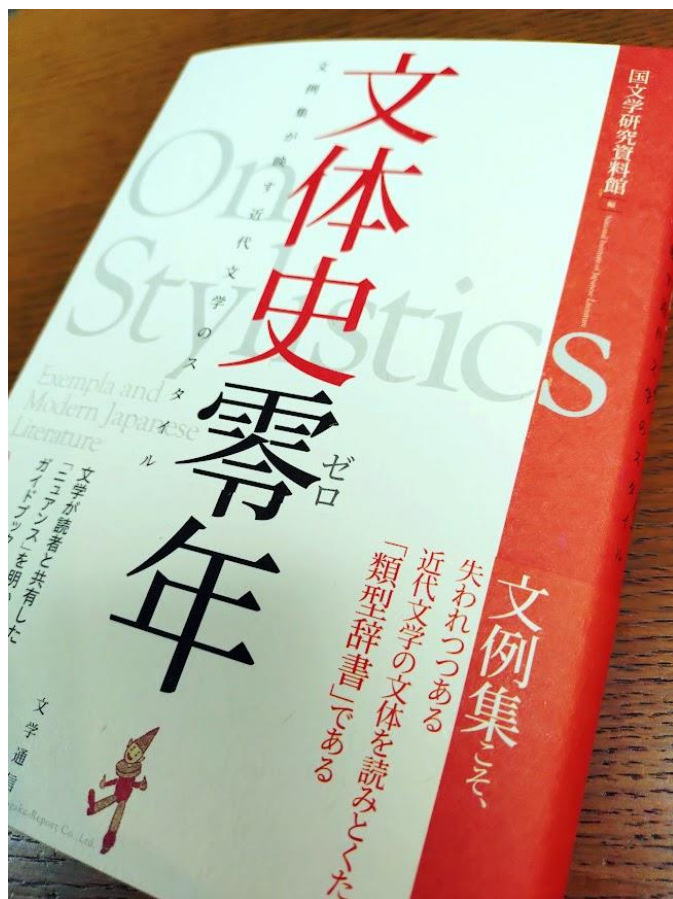
### ■ 著書『永井荷風』(2017, 東京大学出版会)



## ■校注『断腸亭日乗』(2024～, 岩波文庫)



■国文学研究資料館  
『文体史零年…文例集  
が映す近代文学のスタ  
イル』(2025)



※令和3～5年度  
共同研究の成果  
★1500点の文例集  
をもとに文体史を考察



■ 夏目漱石

『吾輩は猫である』

吾輩は猫である。  
名前はまだ無い。  
どこで生れたか  
頓と見当もつか  
ぬ。  
：

↓特徴をどう説明する  
か？

## ■ 人間以外のものがしゃべる話

- ・坪内逍遙『壱円紙幣の履歴ばなし』
- ・泉鏡花『八万六千四百回』(時計)
- ・岡鬼太郎『指輪物語』
- ・内田魯庵『犬物語』
- ・フロード『猫の哲学』
- ・ホフマン『牡猫ムルの人生観』 など

■ 夏目漱石

『吾輩は猫である』

吾輩は猫である。

名前はまだ無い。  
どこで生れたか  
頓と見当もつか  
ぬ：

↓特徴をどう説明するか？

範列

指輪

時計

かもね

である

(統辞)

なのよ

猫

お札

犬

僕は

吾輩は

俺は

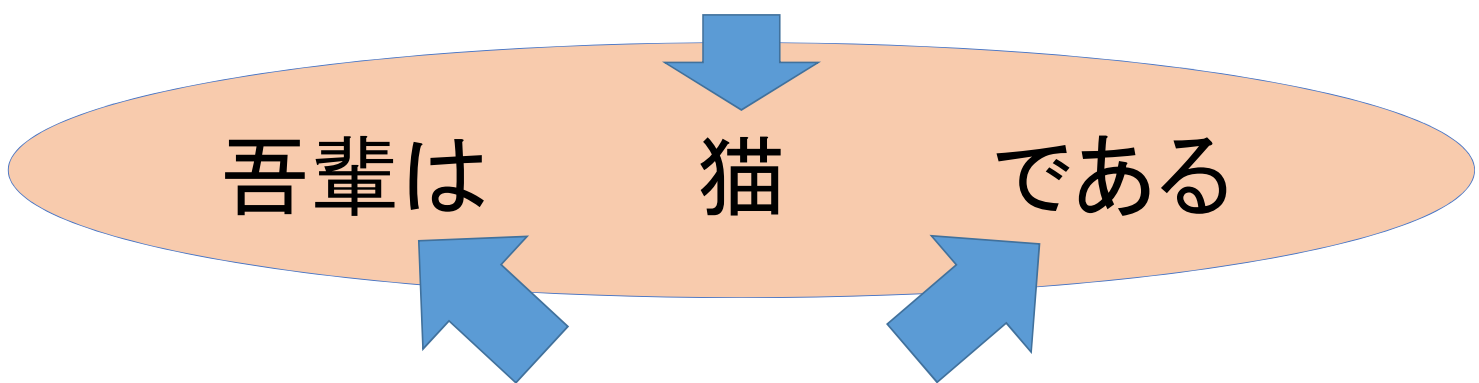


## ■「吾輩は～である」

- ・話し言葉(「言文一致体」)
- ・くだけた口調(「～だよ」など)
- ・まじめな口調(「～です」「～ます」)
- ・演説口調(政治家・軍人など)

## ■「吾輩は猫である」の引用構造

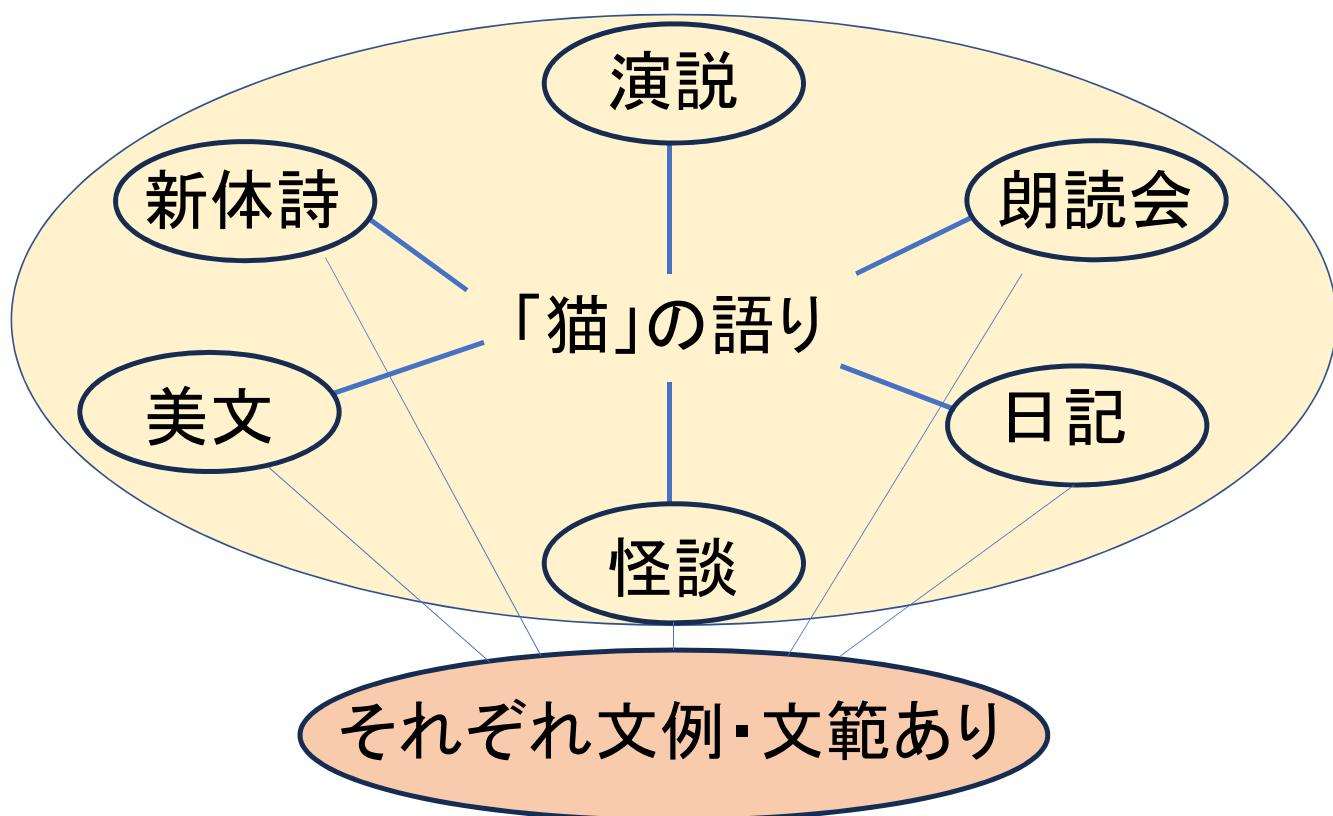
家庭的だが西洋小説に通じる題材を引用



吾輩は                  猫                  である

軍人などの演説口調を引用

## ■ 文体の見本帖



## ■ 日本文学の「文体」

① 漢文／雅文（古文）  
／俗文（言文一致）  
② 個人の「書きぐせ」  
③ ジャンルや状況ごとの「言いまわし」・  
「ルール」

△③は未解明  
（「常識」に属する）

★日本の作者たち  
：言葉を組みあわせて  
「ニュアンス」を作っ  
てきた

## ■日本文学の「文体」

### ◆近代日本語

・古典語のルールは  
残存、変化

・西洋語のルールが膨  
大に流入

↓文章の「雑居状況」

★どの言葉をどう選ぶ  
か？が重要な課題

## ■アプローチ

★翻訳すると消えやすい  
箇所に注目

★ジャンル

（演説／手紙／日記…）

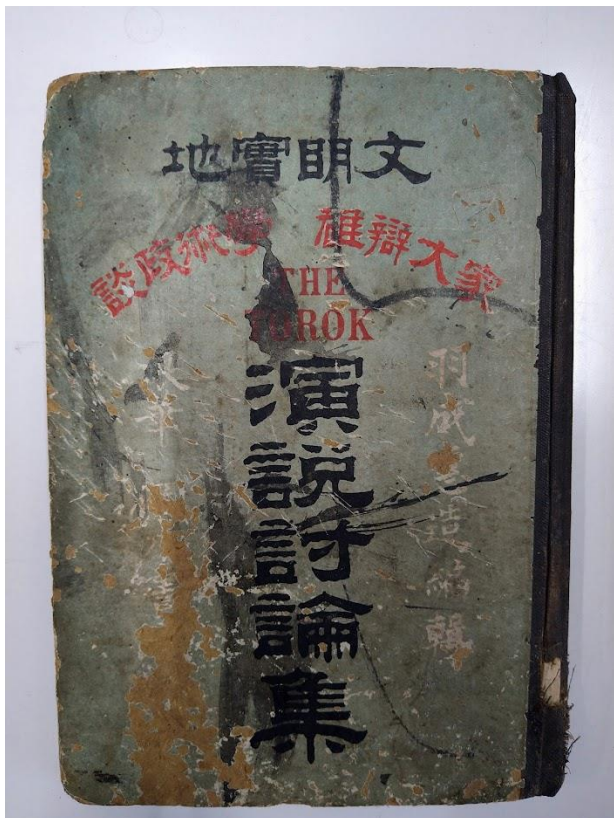
★状況ごとのルール

（場所／性別／年齢／聴  
衆の数／戦時か日常か  
…）



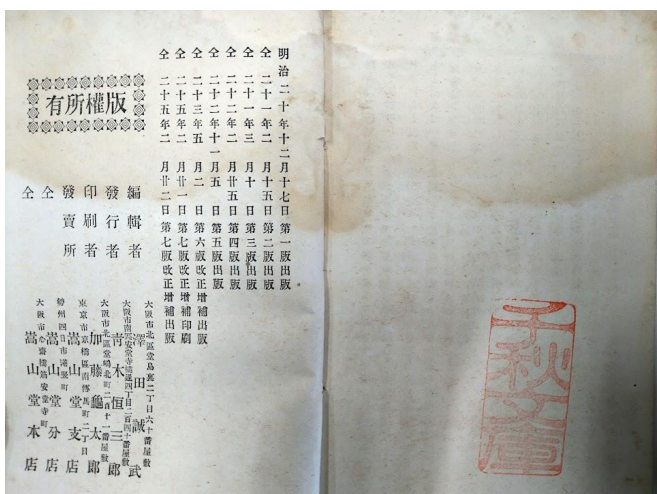
## ◆ジャンルごとの文

・安井兵助『文明実地演  
説討論集』（明治21年、  
同年再版）



## ◆ジャンルごとの文

・澤田誠武『雄弁秘術演  
説美辞法』（明治20年、同  
25年改正増補7版）



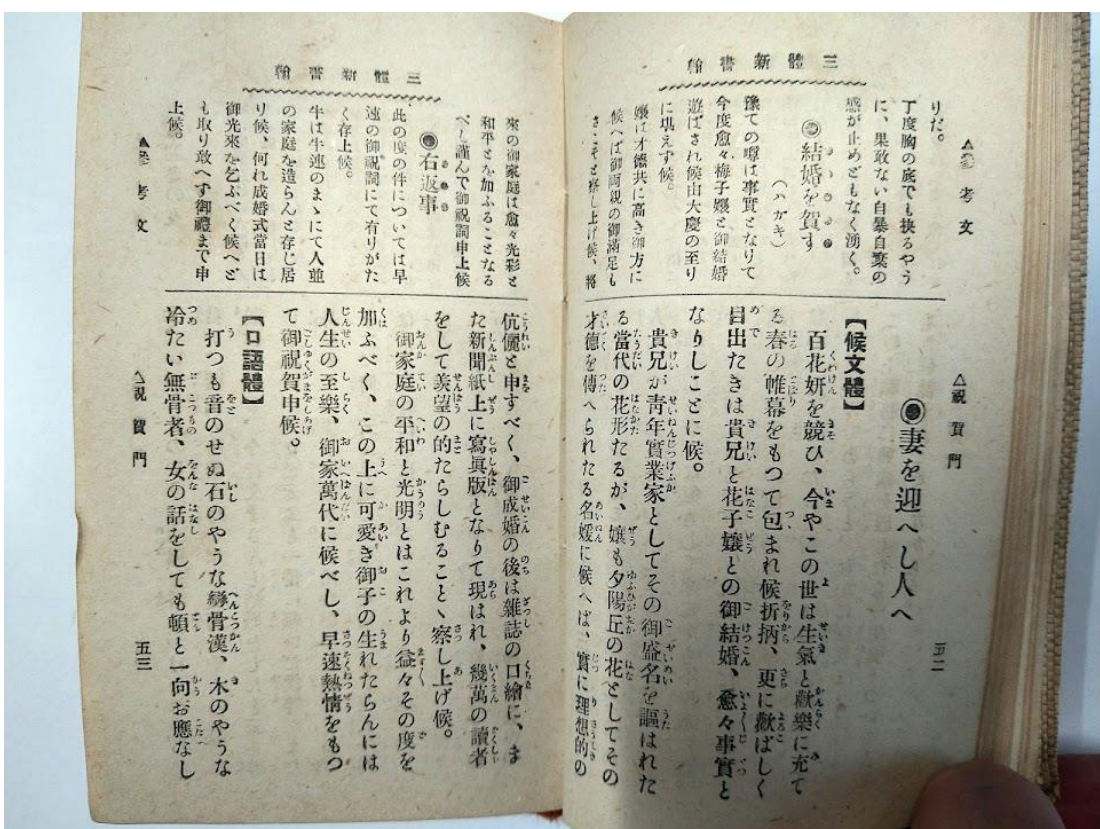
↑「千秋文庫」印あり。

# ◆ジャンルごとの文

・厚東平八『帝国新演説  
美辞法』（明治24年、同29  
年9版）



# ◆ジャンルごとの文 ・『美文的三体書翰』（大 正9）



※三体：候文、口語文、  
ハガキ文



## ◆ジャンルごとの文

・鹿鹽亀吉『歌澤節大全』（明治43年）

治43年）

・軍事普及会『軍歌集め』（明治40年、大正3年28版）

治40年、大正3年28版）

・山田伊之助『再版 絃場必携歌曲集』（明治15年）

曲集』（明治15年）

・『色葉韻歌澤大全』（万延元年）

年）



## ◆ジャンルごとの文

・『言文一致 明治書翰文』（明治34年、同37年4版）

治34年、同37年4版）

・寒川鼠骨『言文一致手紙文』（明治36年、同39年7版）

（明治36年、同39年7版）

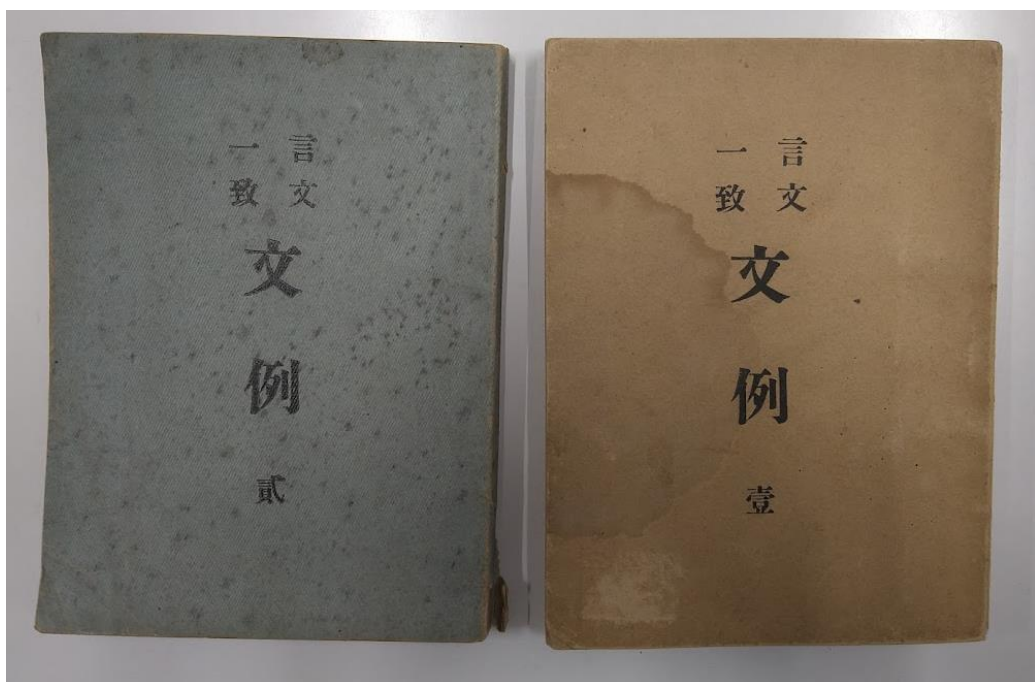
・尾上柴舟『万年筆新書翰』（大正2年、同5年再版）

（大正2年、同5年再版）



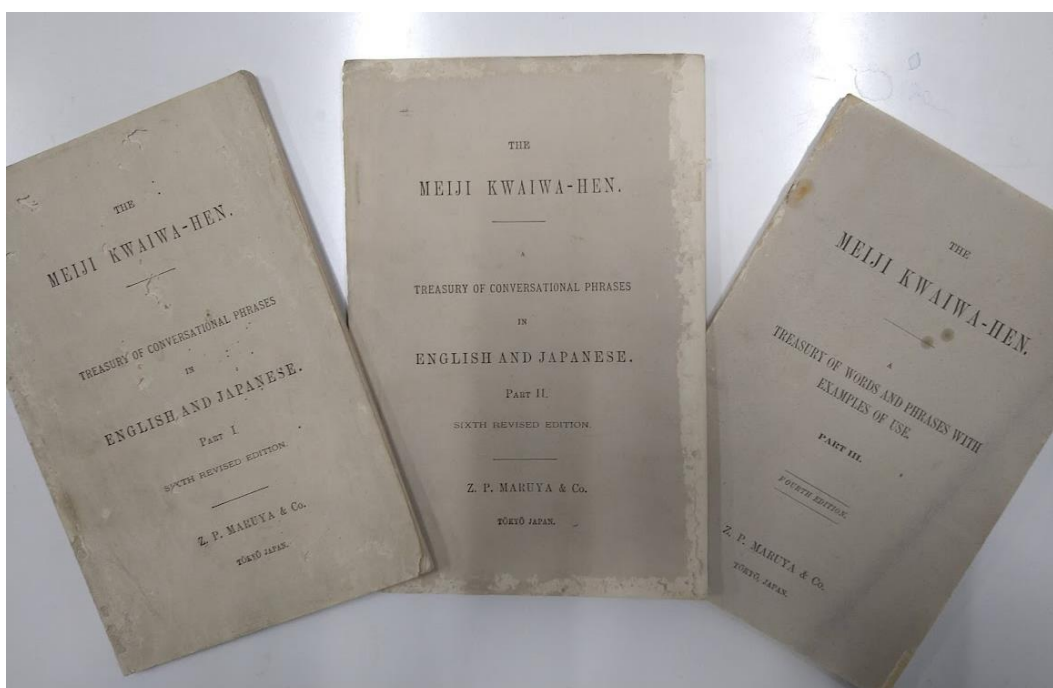
## ◆ジャンルごとの文

・木下祥眞『言文一致文例』壹、  
貳（明治34年。貳は同年6版）



## ◆ジャンルごとの文

・邨松守義『MEIJI KWA  
I WA—HEN.』一、二（明  
治19。一は22年訂正6版、二は  
22年4版）





## ◆ジャンルごとの文

- ・寒川鼠骨『日記文』（明治36年、同37年再版）
- ・尾上柴舟『日記の端より』（大正元年、同2年再版）



## ◆ジャンルごとの文

- ・水野葉舟『紀行文作法』（大正8）



# ◆ジャンル」との文

・雑誌「雄弁」(明治43・

7)

※巖谷小波「半面を認められし御伽噺」掲載



# ◆ジャンル」との文

・雑誌「仏教演説集誌」(明治15

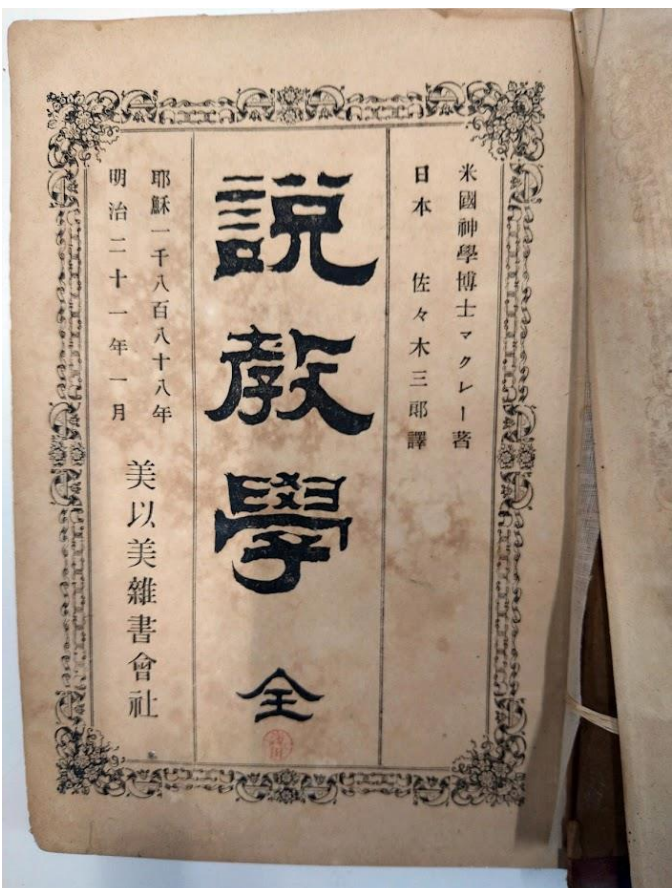
5)





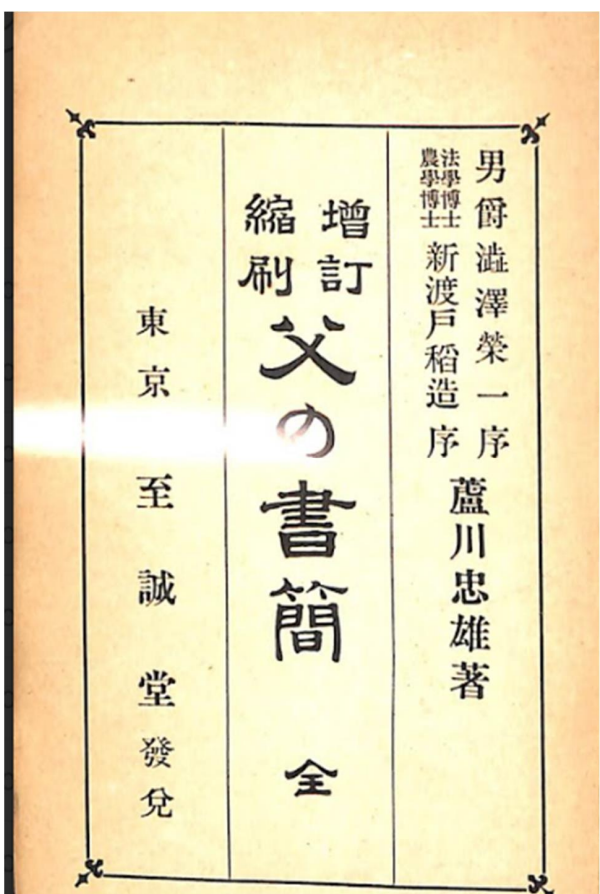
# ◆ジャンルごとの文

・マクレー著、佐々木三郎訳  
『説教学全』（明治21）



# ◆状況ごとの文

・蘆川忠雄  
『増訂縮刷  
父の書簡全』  
（大正4）





◆ 状況ごとの文

・ 樋口絞太

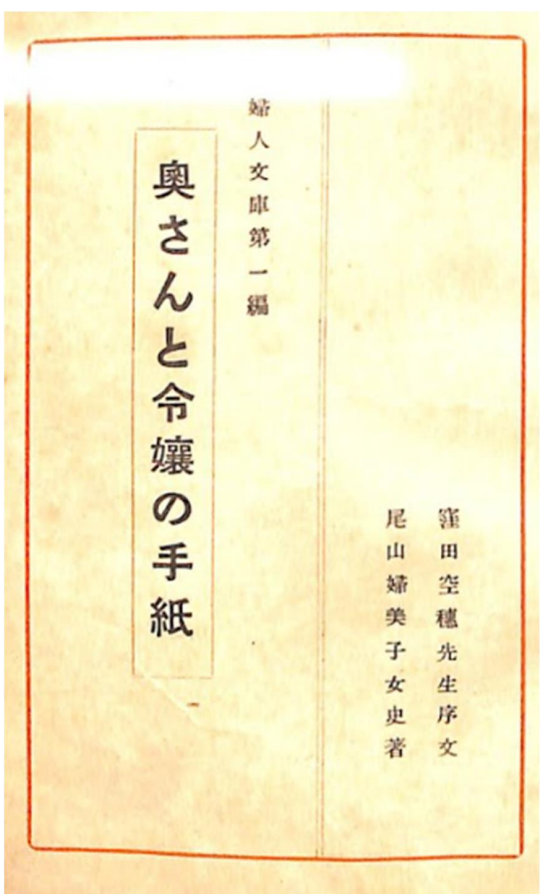
『若き男女の手紙』  
(大正14)



◆ 状況ごとの文

・ 尾山婦美子

『奥さんと令嬢の手紙』  
(大正7)



◆ 状況ごとの文

・ 軍事学研究会

『出征兵士と銃後

軍人手紙文範』

(昭和13)



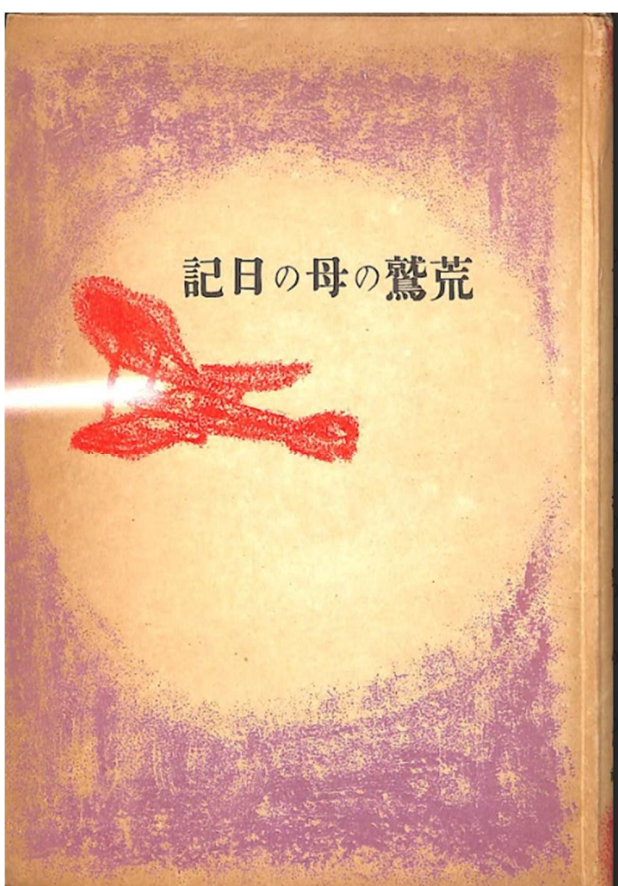
◆ 状況ごとの文

・ リヒトホオフェン

夫人、濱野修訳

『荒鷺の母の日記』

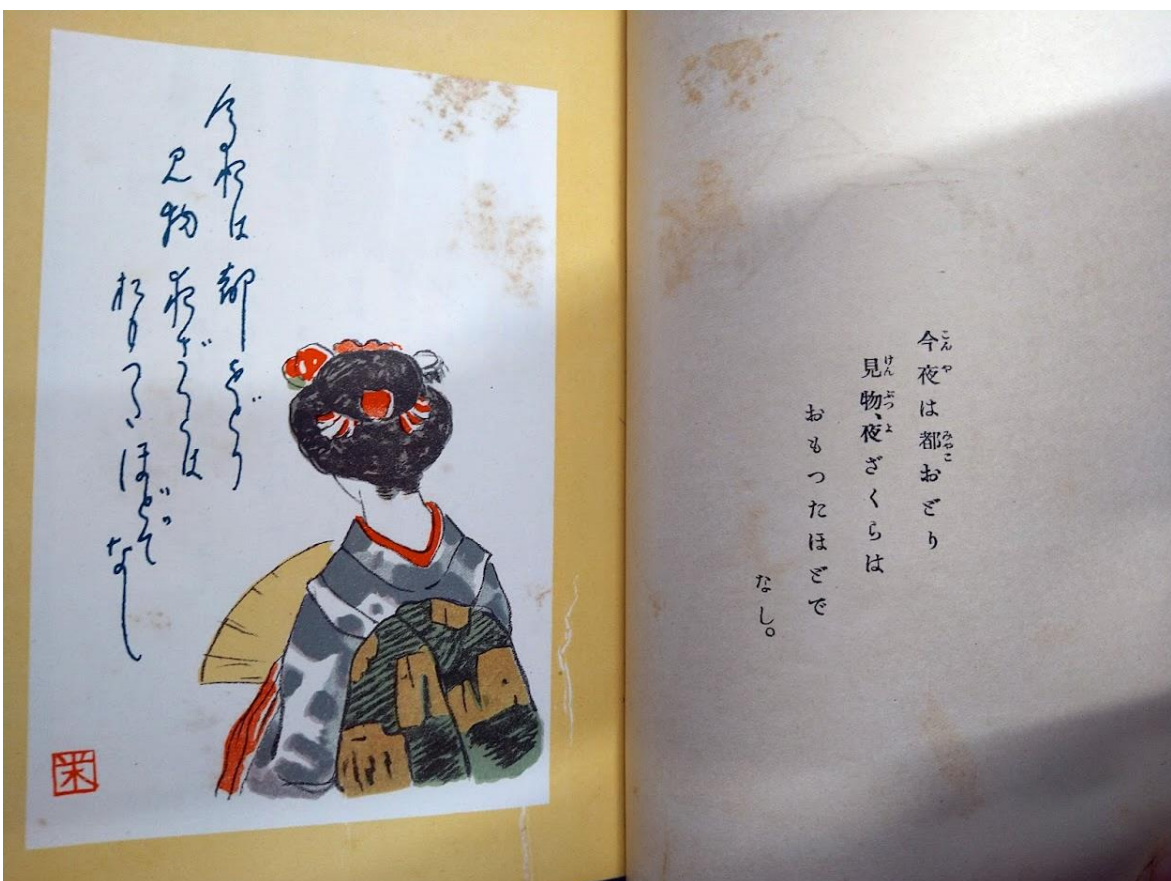
(昭和14)





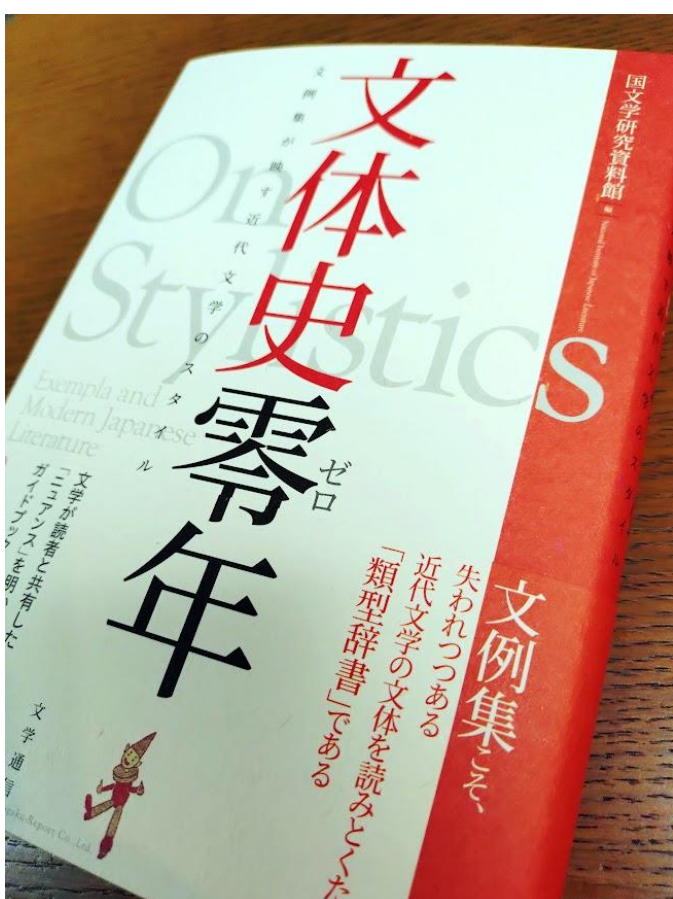
## ◆状況」との文

・尾上柴舟『万年筆新書翰』  
(大正2年、同5年再版)



## ■国文学研究資料館

『文体史零年…文例集  
が映す近代文学のスタ  
イル』(2025)



※R3～R5年度  
共同研究の成果  
★1500点の文例集  
をもとに文体史を考察

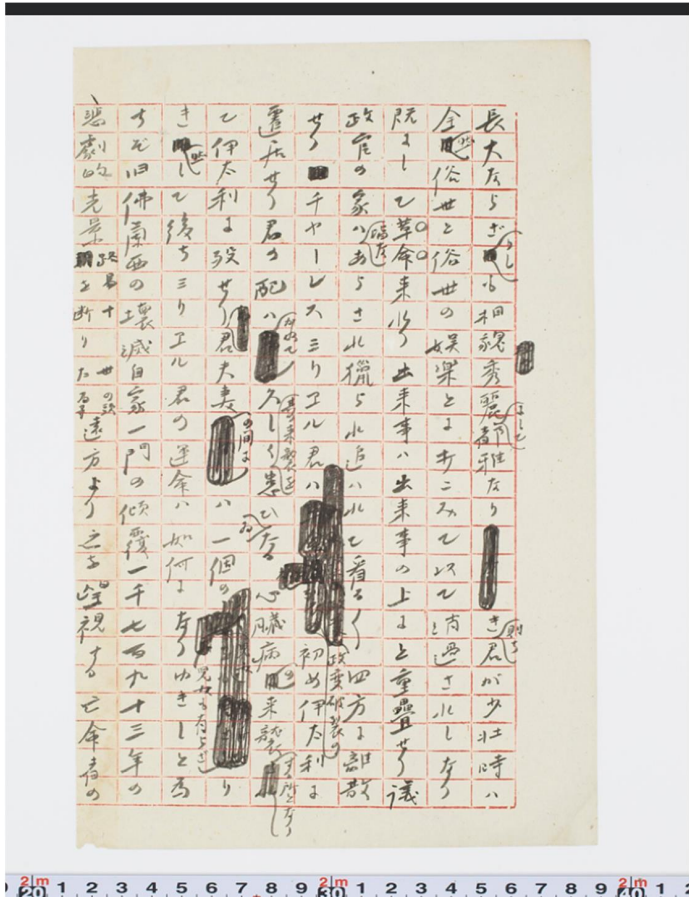


# 研究面の利点

## ◆森田思軒訳

## ユゴー『レ・ミゼラブル』

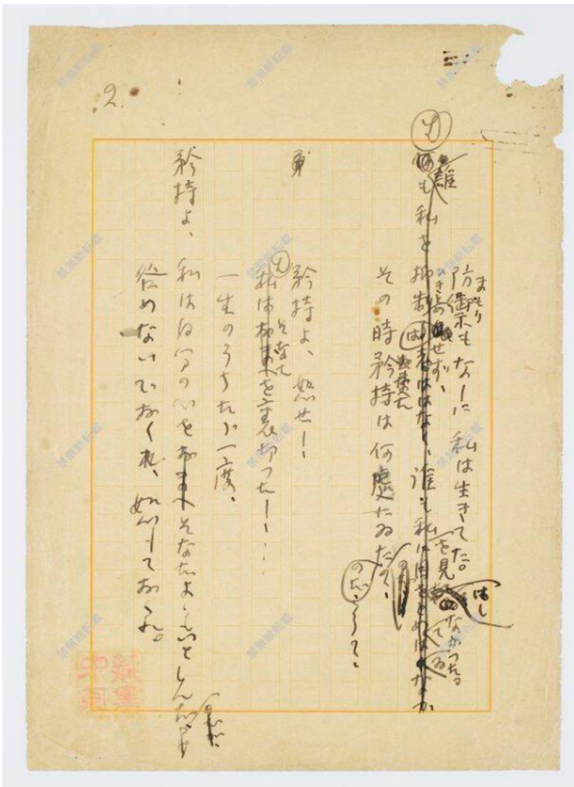
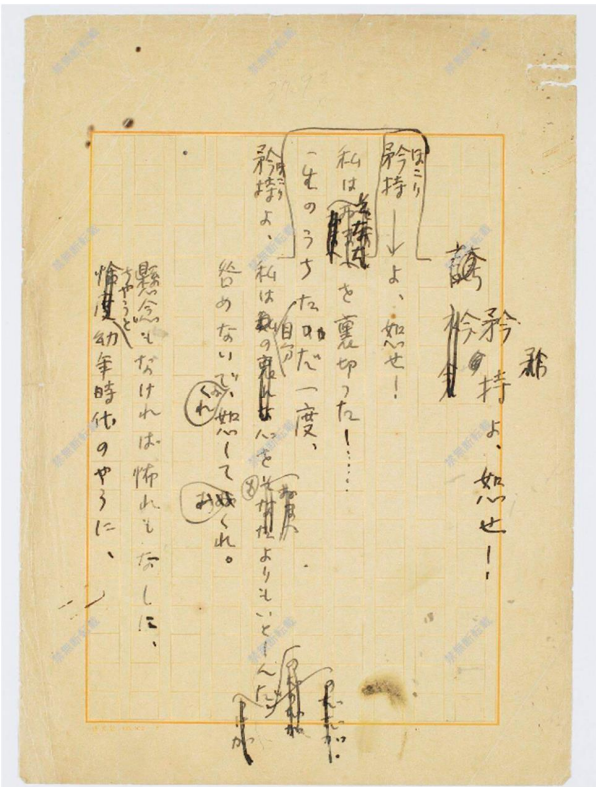
## 訳稿



# 中原中也訳、

## R・ヴァルモール

## 『矜持よ、恕せ！』訳稿

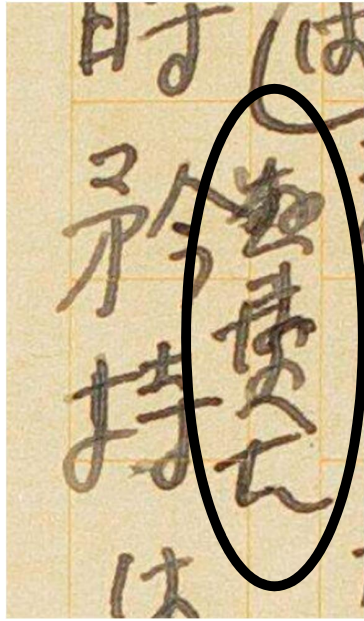
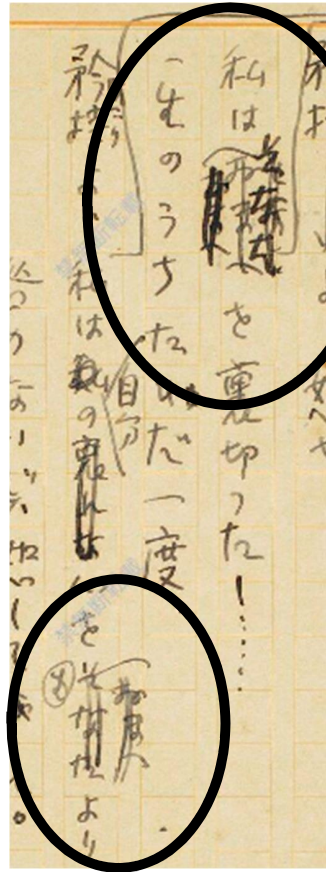


■『矜持よ、恕せ！』

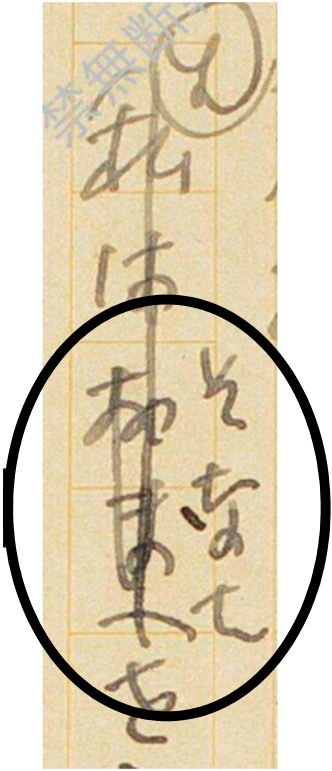
○「矜持」の呼びかた

「おまへ」／「そち」／

「そなた」



↑  
重複



■ヴァルモール

『矜持よ、恕せ！』訳稿

○自分の心をそなたよりも  
いとしんだ

「のだ」

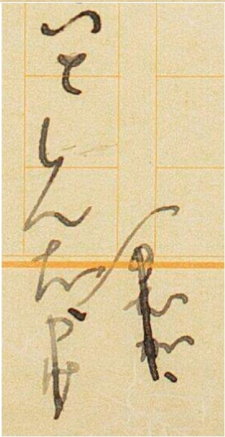
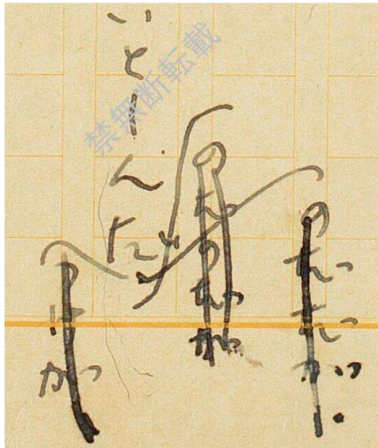
「だが」

「のだつたが」

「つけ」

「つけが、」

★俗語を一度検討↓削除



■ 正宗白鳥旧蔵

トルストイ

『アンナ・カレーニナ』

★書込み

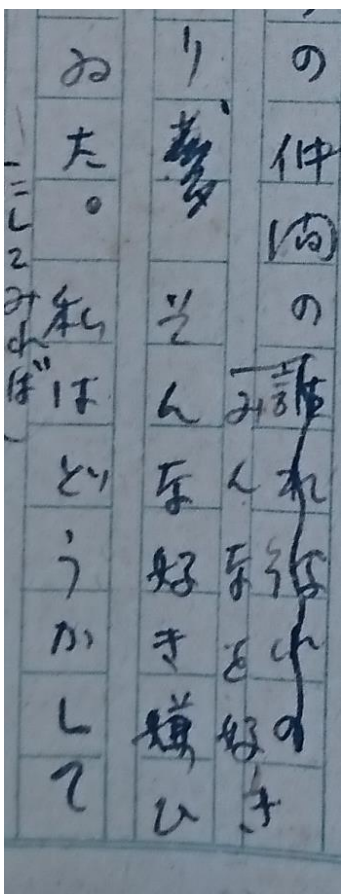
「「略」アンナの心理は今より見れば平凡なり凡てが常套なりレビンの煩悶も予が二十前後のと同じ」

◆ 島尾敏雄『摩耶

たちへの偏見』草稿

（鹿児島県立奄美図

書館蔵）



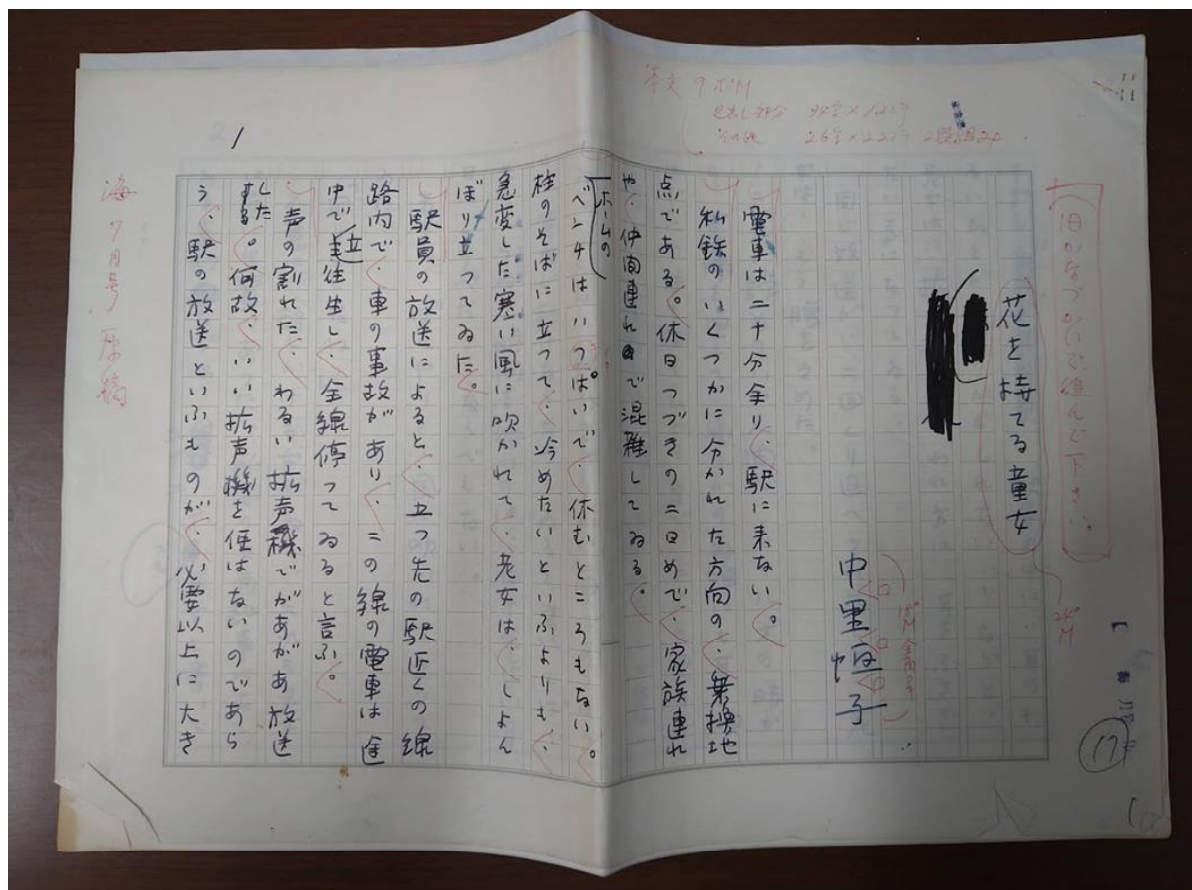
※草稿は旧かなづかい。

★昭和25・8 「婦人画報」

本文は新かなづかい



◆中里恒子「花を持てる童女」  
（「海」昭和49・7）架蔵



・指示「旧かなづかいで組

んで下さい」

例：「武者小路実篤」 195件

★最近「国書デ  
タベース」で、自筆  
資料と活字本文の比  
較が容易に

国書データベース

【書誌検索】

刊写の別

[写 \(177\)](#)

[刊 \(18\)](#)

種別

[近代 \(195\)](#)

武者小路実篤

Q 検索

× クリア

詳細検索

Powered By pgronga

書誌から探す

著作から探す

著者から探す

該当件数 : 195件 (1-100件目)

1

2

>

統一書名, 著作ソース, 分類, 作品著者名, 成立年, 書誌件数, WID

No. 書名, コレクション略称, 請求記号, 刊写の別, 刊年 or 書写年, 冊数, 残欠, 書誌種別, 画像マーク, BID

1 [原稿：Sの叔父さんの話, 武者小路記念近代, DIG-MSMM-30, 写, 近代, , 300047530](#)

2 [夢と死, 函館中央図近代, 刊, 昭和21.1.20, 1冊, 近代, 300009846](#)

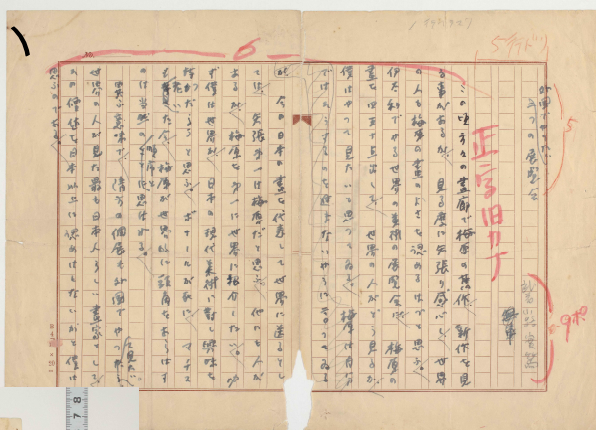
3 [夢窓, 大阪大中正舌島図近代, 刊, 昭和23.3.25, 1冊, 近代, 300030975](#)

♪ 続々追加中！

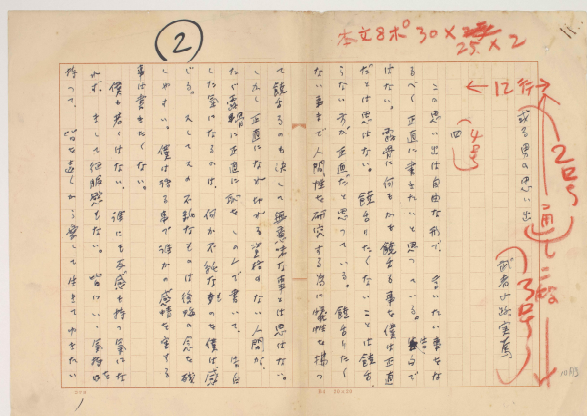
# ★武者小路は

昭和34年に新かなに

⇐『或る男  
の思い出』  
(昭和34)



『外国でやりたい  
二つの展覧会』  
(昭和29) ⇒



## ■「文体」の再発見

★「言葉をえらぶ文学」としての日本文学

・同じ内容でも、どの言葉や言いまわしを選ぶかでメッセージが全く異なる

・「文体」のヴァリエーション

近代日本の文化的多相性を把握